

事務事業評価シート

(評価対象年度：平成30年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名	中小企業金融対策事業				②事業番号	3418			
③事業類型	3. 政策推進事業			④開始年度	平成	6	⑤終了予定年度	年度	<input type="radio"/> 設定なし
⑥根拠法令等	法令	条例	規則	<input type="radio"/> 要綱	計画等	その他 法令等の名称: 泉南市中小企業事業資金融資利子補給要綱			
⑦実施手法	直営	全部委託	一部委託	<input type="radio"/> 補助・負担	その他				
⑧関連予算科目コード	款	6	項	1	目	2	細目	4	
⑨担当部名	市民生活環境部			⑩担当課名	産業観光課		会計	一般会計	

2. 事務事業の現状把握【DO】

【1】事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	① 市内小工業者	②	対象指標(対象者数を表す指標)	① 企業数	②	単位	件
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	制度融資等に係る利子補給を行う。大阪府制度融資の経営安定サポート資金、日本政策金融公庫の小規模事業者経営改善資金が対象。当初融資額のうち500万円分を対象とし、返済利率の1%相当額を補給する。		活動指標(活動の量を表す指標)	① 申請数	②	③	件
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	市内中小企業に対して制度融資等の利子補給を行うことで、融資等の利用推進を図り、事業者が安定的な経営を行えるようにする。		成果指標(意図の達成度を表す指標)	① 利子補給を行った企業数	②	③	件
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	市内中小企業に対し、運転資金の利用を促進することで安定的な経営や事業発展を促し、地域商業の活性化が期待できる。		総合計画体系上の位置付け	政策(章)	3	産業の活力が増し、にぎわいと交流が生まれるまち	
				施策大(節)	3	買物がしやすく人びとの交流の場ともなる、にぎわいと商業のまちをめざします	
				施策中	1	商業・サービス業の振興	
				施策小	1	地域商業の活性化	

【2】各種指標値、事業費の推移

指標名	単位	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標①	企業数	2,266	2,266	2,266	—	—	経済センサス事業所数。
対象指標②							
活動指標①	申請数	104	99	97	—	—	
活動指標②							
活動指標③							
成果指標①	利子補給を行った企業数	104	99	97	—	—	事業費などの推移における特殊要因などの説明
成果指標②							
成果指標③							
事業費							
投入人員	正職員	人	0.19	0.10	0.11	0.10	事業費などの推移における特殊要因などの説明
	任期付職員	人	0.00	0.41	0.41	0.41	
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	
	総事業費	千円	3,885	4,512	4,678	4,656	
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	—
	府支出金	千円	0	0	0	0	
	受益者負担金	千円	0	0	0	0	
	その他特定財源	千円	0	0	0	0	
	一般財源	千円	3,885	4,512	4,678	4,656	

【3】事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	市内中小業者の経営の安定のため。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	景気の変動により、市内企業の資金繰りが厳しくなっているように思われる。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

### 3. 事務事業の評価【CHECK】

#### [1]目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[1]の評価 **A**

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事務事業の意図すること(目的)は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。	ア. する アイ. ある程度 ウ. しない	中小企業支援策として、大いに貢献する。
②税金を使って達成する目的ですか。(市が関与する必要がありますか、市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。)	ア. はい アイ. ある程度 ウ. いいえ	安定的な企業経営は、市税の安定につながる。
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。(他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている アイ. ある程度 ウ. いない	経済変動が低迷状態の中、必要な事業であると思われる。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア. 影響がある アイ. ある程度 ウ. ない	休止は、中小企業の安定的な経営に大きく影響する。

#### [2]有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[2]の評価 **A**

⑤期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている アイ. ある程度 ウ. いない	利用事業者が減少傾向にあるものの、企業の安定経営に対して大きく寄与していると思われる。
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。(事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある アイ. ない	利子補給額の率の変更、新たな支援が必要か。
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし アイ. できる ウ. できない	市内商工業者への支援は当課しか事業実施していない。

#### [3]効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[3]の評価 **A**

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。(業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	コストの削減は難しい。
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。(歳入確保はできませんか。)	ア. ある イ. ない	利子の補給率を下げることは難しい。

### 4. 総合評価

総合評価	評価(A~D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A: 現状のまま事業を進めることが適当 B: 事業の進め方に改善が必要 C: 事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D: 事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	<b>A</b>	中小企業の安定経営に貢献していると思われる。	

### 5. 改革、改善案【ACTION】

#### <今後の方向性>

<b>ア</b>	<p>ア. 現状のまま継続      イ. 見直しのうえで継続</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>ウ. 終了      エ. 休止      オ. 廃止</p> <p style="text-align: center;">( ___ 年まで)      ( ___ 年から)      ( ___ 年から)</p>
<b>イ</b>	<p>&lt;今後の展開方針&gt;</p> <p>a. 重点化する(集中的なコスト投入)</p> <p>b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える)</p> <p>c. 効率化する(コストを下げる)</p> <p>d. 簡素化する(規模を縮小する)</p> <p>e. 統合する(他の事務事業と統合する)</p>
①改革、改善の具体案、実施年度など	—
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	事業者の置かれる環境は景気の変動に大きく左右されるため、一時的な利用者数の増減によって事業の可否を判断することなく、中長期的な視野に基づいた事業展開、見直しが必要である。